

火災報知器の電池交換について

平成21年度・22年度に梶原消防団に委託した「梶原町内見まもり世帯住宅用火災報知器設置事業」を利用して設置した火災報知器について、点滅したり、「ピー ピー」という音がするとの情報が役場に寄せられています。

設置から10年以上経過し、電池切れが原因と思われます。

火災報知器設置については、平成16年の消防法の改正で、平成18年6月から新築住宅への設置が義務化されたことに続き、平成23年6月1日までに既存住宅についても設置が義務化されました。それに伴い、65歳以上の独居・高齢者世帯等で希望する家庭について、消防団を通じて設置することを補助していました。

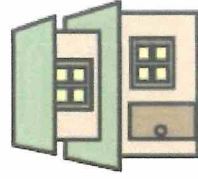
夜間における住宅火災などからの逃げ遅れを防ぎ、自らの命を守るためにも電池交換や報知器の交換を定期的に行っていただきますようよろしくをお願いします。

なお、各自で電池交換等ができない場合は、お手伝いをしますので、梶原町役場総務課総務危機管理係までお知らせください。

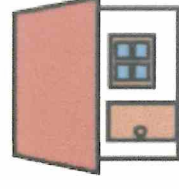
※電池代等をご本人負担となります。

【問合せ】

梶原町役場
総務課総務危機管理係
TEL：65-1111



梶原町公営住宅等の入居者募集について



公営住宅等の入居につきまして、下記のとおり希望者を募集いたします。

1. 募集する住宅の種類及び場所

No.	団地名	募集戸数	住所	規格	建設年度	共益費	家賃
1	飯母第4住宅	1戸	飯母2854番地5	木造2階建 延べ72.0㎡	H3年度	—	公営住宅法に基づき、世帯所得により算定
2	田野々第1住宅	1戸	田野々2665番地	木造2階建 延べ74.5㎡	H4年度	1,600円	
3	田野々第1住宅	1戸	田野々2665番地	木造2階建 延べ79.2㎡	H5年度	—	
4	田野々第2住宅	1戸	田野々2633番地	木造2階建 延べ78.5㎡	H6年度	—	
5	下組高齢者合宿施設(2号、3号、4号、5号)	4戸	下組202番地1	木造平屋 延べ39.7㎡	H12年度	700円	
6	六丁住宅	1戸	六丁264番地1	木造2階建 延べ74.5㎡	H4年度	—	
7	六丁旧教員住宅	1戸	六丁185番地	木造2階建 延べ65.8㎡	H8年度	—	
8	六丁旧教員住宅	1戸	六丁185番地	木造平屋 延べ46.3㎡	H8年度	—	
9	松原住宅	1戸	松原570番地	木造2階建 延べ79.2㎡	H5年度	2,400円	
10	松原高齢者住宅	1戸	松原571番地	木造平屋 延べ39.7㎡	H11年度	700円	
11	松原旧教員住宅	1戸	松原275番地	木造平屋 延べ39.7㎡	H5年度	1,900円	

2. 入居資格等

(1) 現に、住宅に困窮していることが明らかでないこと。

(2) 入居しようとする世帯全員の月収入が**259,000円以下**であること。

【※六丁旧保健師住宅は所得制限はありません。また、南町住宅に医師又は医療技術職の者が入居する場合、梶原町立国民健康保険梶原病院医師住宅等の設置及び管理に関する条例第5条に基づき、家賃月額を12,000円 共益費を1,000円とします。左記に該当しない者が入居する場合は公営住宅法に基づき、世帯所得により算定します。】

(3) 申込者及び同居しようとする親族が暴力団員でないこと。

(4) 住民税の滞納がないこと。

3. 申込方法

役場・総務課にある「**町営住宅入居申込書**」によりお申し込みください。

※収入のある方全員の**所得証明**、**納税証明**の添付が必要です。

4. 申込期限

令和2年10月1日(木)午後5時15分まで(土曜・日曜・祝日は受付できません。)

5. 入居者の選考方法

梶原町営住宅管理条例に基づき、選考決定します。

※ 問合せ、申込先・・・梶原町役場総務課総務危機管理係 (電話 65-1111)

12	六丁旧保健師住宅	1戸	六丁185番地	木造2階建 延べ51㎡	S51年度	—	6,000円
13	南町住宅	1戸	梶原1357番地	鉄筋2階建 延べ64.5㎡	S60年度	※	※

令和2年 ゆすはら道路網維持管理チーム (公共施設維持管理業務) チーム員追加募集

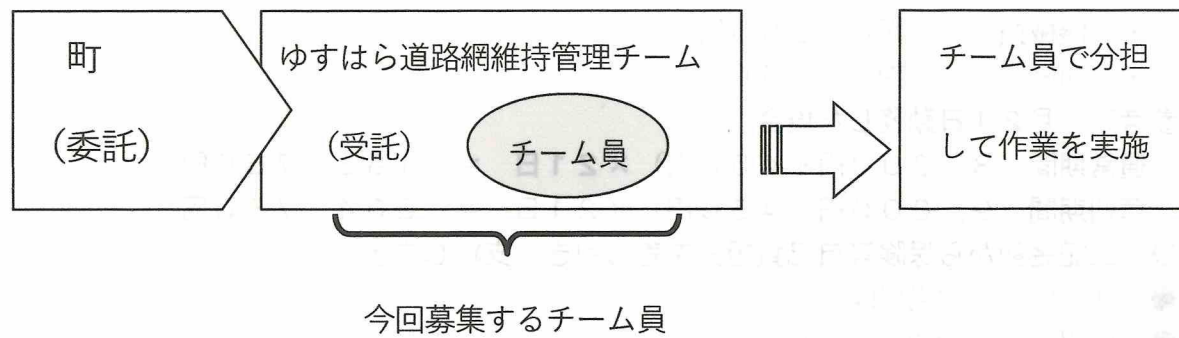
ゆすはら道路網維持管理チームは、町内道路網(国道・県道・町道等)の維持管理における清掃員を募集しています。

意欲ある方の応募をお待ちしています。

雇用形態

- ゆすはら道路網維持管理チームに所属し、他のチーム員と協力して町内道路網の維持管理業務を行う。

【イメージ図】



応募資格

- 現在失業中の方(令和2年10月1日以降、就業可能な方)
- 梶原町在住の方(採用後に梶原町に移住見込みの方も可)
- 普通自動車免許を所持している方(令和2年10月1日までに取得見込みの方も可)
【スコップ等の作業道具積載可能で、通勤(現地集合)に使用できる車両を用意できる方】
- 令和2年10月1日時点で満70歳未満の方

募集人数

- 1名

勤務地

- 梶原町全域の道路網(国道・県道・町道等)
- ※ 通勤手段(現地集合用の車両)は各自で用意してください。

業務内容

【 国道・県道・町道等の維持管理に関する業務全般 】

- 日常の道路パトロール ● 小動物死骸除去 ● 小規模な舗装修繕
- 草刈り ● 側溝清掃及び路面清掃
- 小規模な崩土除去 ● 書類作成事務(写真整理、報告書作成等) 等
- ※ 勤務地までは各自で用意した自家用車等で移動してください。また、作業に使用する器具等は、基本的に各自で準備してください。

勤務に関する諸条件

- 月曜日から金曜日までと、第1・3土曜日の1日8時間勤務。
- ※ 週40時間、月平均21日勤務とし、勤務日数と進捗状況によっては第1・3土曜日が休日となる場合もあります。また、日曜日、祝日、年末年始等は基本的に休日ですが、緊急点検や進捗状況によって出勤していただくこともあります。
- 給与体系(日給、燃料及び機械損料)… 月末締め、毎月10日に支払い
 - ・ 給与日額 8,300円
 - 9,300円(草刈り期間、年間を通じ4ヵ月程度)
 - ・ 機械損料(日額) 200円
 - ・ 通勤手当(日額) 250円

(参考) 月21日勤務した場合

通常期間(8,300円+450円)×21日 = 183,750円
草刈り期間(9,300円+450円)×21日 = 204,750円

※ 上記金額から保険等自己負担分を差し引き、支給します。

- 社会保険、労働保険に加入。
- 雇用期間 令和2年10月1日～令和3年3月31日まで

勤務に関する諸条件

- 書類及び面接選考により決定。面接の日程は、後日連絡します。
(令和2年9月23日～9月29日の間の1日を予定)

応募方法/募集締切

- 履歴書(顔写真必須)を持参または郵送してください。令和2年9月18日(金)必着です。

履歴書提出先、問合せ先

〒785-0695
梶原町梶原1444番地1
梶原町環境整備課 建設係
電話 0889-65-1251

まで

<商い担い手育成塾>

『奮闘する方々の努力を想像 集落活動センター第二講 はつせ/四万川』

「西区・越知面区」に続いて、7月27日に「初瀬区・四万川区」の集落活動センターから、設立の背景や課題を報告いただきました。聴講した塾生の感想を添えて紹介します。



△講座風景



△矢野豪佑さん

<はつせ>

「早くから町の中心部で『朝市会』の活動を始めた地域で、地元産物をお金に換えることに取り組んできました。」と切り出したのは、手弁当で様々な活動を進め、支えてきた矢野豪佑さん。

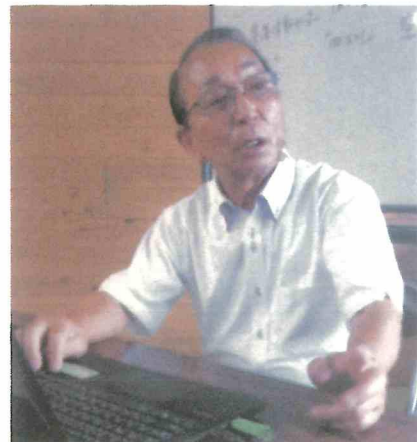
韓国の大学との連携で生まれた鷹取キムチ、その発展形として誕生させたレストランとサウナ施設。地域のお年寄りの移動手段を担う『絆』など、大変な苦労があったらうと、頭が下がりました。

<四万川>

集落活動センター四万川は、地域のガソリンスタンドの閉店を契機に開所しています。センター長は空岡則明区長がつとめ、ガソリンスタンド運営を軸に多彩な事業を展開してきました。

農産物の販売から、最近では何と葬祭事業まで。稼ぎ頭はガソリンスタンドですが、少ない投資額で、地域住民のニーズに上手く応える。お話を聞いて、その経営展開は見事だと感じました。

(塾長：笹岡)



△空岡則明さん

= 塾生の感想 =

○集落活動センター「はつせ」について

(塾生：来米 彩)

町内で最も人口の少ない区でありながら、施設運営と設備維持管理に奮闘している方の努力が想像できました。決して交通の便がいい立地ではないため、初めて車で訪れる方が途中で引き返してしまう事などもあり、道に旗を立てる工夫をされています。また、今は新型コロナウイルス対策として、食事の提供をバイキングからお弁当形式に変えて運営する努力をされているそうです。

鷹取キムチに使用する白菜は取り寄せているそうで、白菜の値段の高騰もあって、大変だと聞きました。本場韓国の味を感じられる商品として、ファンも多いようです。また、地域の方が腕を振った美味しい韓国料理が楽しめるチムジルバンレストランとして「おいしくてお腹いっぱいになる。」という声をよく聞きます。

私は低温サウナを体験したいと思いつつ、まだ利用したことがないため、近いうちに利用したいと考えています。低温サウナとヨガを組み合わせたイベントなどがあれば楽しそうだと思います。

活動される皆さんの元気そうな写真も拝見しました。まだまだ現役でがんばって頂きたいです。

○集落活動センター「四万川」について

(塾生：尾崎 彩)

センターの仕事は、ガソリンスタンド事業に加えて、葬祭・菓子製造・人材育成のためのインターン受け入れなど幅広い。雇用が生まれ、人・物・金の流れを創り出している。感心した。

併設されている市場では、遠出せずにホームセンターと同じ価格で商品を購入できる。野菜販売は、自宅で消費しきれないものも販売でき、農家にとっては野菜を育てる楽しみになっているそうだ。このように、地域の方のニーズをいち早くキャッチし、応えていくスタイルは、とても素晴らしいと思った。

「ガソリンスタンド事業は、人口減少に伴い、需要はいずれ減少傾向になると思うが、この資金を元にまた別のものへ発展させたい。」と空岡センター長は話していた。今後の展開や未来まで見据えた活動をしていることに感心した。

「住民の声にとことん応える」を信念に活動している四万川。話を聞いていなくても、住民の方との距離が近く、寄り添っていることが伝わってきた。

【発行：ゆすはら産業担い手育成塾（産業振興課/森林の文化創造推進課内）】